

平凡なロンドン市民として生活する男性が、大金の入ったアタッシュケースを偶然手に入れてしまうことに端を発するコメディ作品である。それまで全く犯罪行為をするつもりがなかった善良な人物が、突然転がり込んだ大金を手放すまいと、嘘を重ねて暴力的にまでなっていく様は、資本主義社会と人間の欲望に対する風刺も感じさせる。コロナ禍において、役所から手違いで振り込まれた多額のお金をオンラインカジノで使い込んだ男性がいたが、彼が置かれたのはまさにこの作品のような世界だったかもしれない。台本の良さを信頼したシンプルな演出が効果的であり、出演者たち自身がこの作品を演じることを心から楽しんでいることが伝わってくるのが心地よかった。

今回、劇団の旗揚げ公演である上、2回のみステージという条件下での上演だったが、今後長く活動が続けていく中で、演技のアンサンブルがより成熟していくことを期待する。